

薬害と医療安全も学ぶ

令和5年5月25日(木)
19:00~20:30



本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。
薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、
薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思えます。
医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より
医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。
是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、
ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

緊急避妊薬/HPVワクチンにおける これから想定される副反応・副作用と課題

宮原富士子(NPO法人HAP)

19:45~20:30

薬害とは何か 中村由喜氏(TAYA研究会)

〈参加費〉HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。

薬害と 医療安全と 学ぶ

WEB開催!!


令和5年6月22日(木)
19:00~20:30

本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。
薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、
薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思えます。
医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より
医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。
是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、
ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

ソリブジン事件から学ぶこと

19:45~20:30

医薬品における適正使用・情報・RMP

中村由喜 氏(TAYA研究会)

〈参加費〉HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。

薬害と医療安全と学ぶ

令和5年7月27日(木)
19:00~20:30



本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。
薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、
薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思えます。
医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より
医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。
是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、
ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

サリドマイド事件 中村由喜氏(TAYA研究会)

19:45~20:30

在宅医療、介護施設における医療用医薬品の調達 (配薬をどのようにすることで患者の安全が守られるのか) 宮原富士子(NPO法人HAP)

【参加費】 HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。

薬害と医療安全と学ぶ

令和5年9月28日(木)
19:00~20:30



本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。
薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、
薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思えます。
医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より
医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。
是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、
ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

キノホルムによるスモン事件

中村由喜氏

(TAYA研究会)

19:45~20:30

医療安全1 医療安全の基礎

飯島久子先生

(静岡県立静岡がんセンター RMQC室 参与 薬剤師)

〈参加費〉HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。

薬害と医療安全も学ぶ

令和5年10月26日(木)
19:00~20:30

WEB開催!!



本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思っております。医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

CJD事件
中村由喜氏
(TAYA研究会)

19:45~20:30

医療安全2
報告された事例を分析して、対策をたてるために
飯島久子先生
(静岡県立静岡がんセンター RMQC室 参与 薬剤師)

〈参加費〉HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。

薬害と 医療安全と 学ぶ

WEB開催!!


令和5年11月21日(火)
19:00~20:30

本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。
薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、
薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思えます。
医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より
医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。
是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、
ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

イレッサ事件から学ぶこと

中村由喜氏
(TAYA研究会)

19:45~20:30

HIV被害者の活動 今と今後の課題

後藤正善氏

〈参加費〉HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。

薬害と医療安全と学ぶ

令和5年12月28日(木)
19:00~20:30



本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。
薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、
薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思えます。
医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より
医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。
是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、
ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

医薬品の相互作用からみたソリブジン事件

中村由喜氏
(TAYA研究会)

19:45~20:30

医療安全3 やっていきましょうKYT

飯島久子先生

(静岡県立静岡がんセンター RMQC室 参与 薬剤師)

【参加費】HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。

薬害と医療安全と学ぶ

令和6年1月25日(木)
19:00~20:30



本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。
薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、
薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思えます。
医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より
医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。
是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、
ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

薬害エイズ事件

中村由喜氏

(TAYA研究会)

19:45~20:30

医療安全4 やっていきましょうRCA

飯島久子先生

(静岡県立静岡がんセンター RMQC室 参与 薬剤師)

〈参加費〉HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。

薬害と医療安全を学ぶ

令和6年2月22日(木)
19:00~20:30



本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思えます。医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

C型肝炎
中村由喜氏
(TAYA研究会)

19:45~20:30

医療安全5
医療安全のために必要なコミュニケーションのツールとは
飯島久子先生
(静岡県立静岡がんセンター RMQC室 参与 薬剤師)

〈参加費〉HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスクエア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスクエアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。

薬害と医療安全を学ぶ

令和6年3月28日(木)
19:00~20:30

WEB開催!!



本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。薬害については、これまでの事例について、薬害被害者の声を聴き、問題点、薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思っております。医療安全については、静岡がんセンター飯島久子先生より医療安全の基礎から事例分析を中心に学んでいく計画です。是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

MMRワクチン

中村由喜氏

(TAYA研究会)

19:45~20:30

まとめ

様々な事例から医療安全をもう一度考えてみよう

飯島久子先生

(静岡県立静岡がんセンター RMQC室 参与 薬剤師)

〈参加費〉HAP会員1,300円(2023年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。